



2016年3月期 決算説明会資料

2016年5月25日（水）

株式会社サンゲツ

社長室 広報IR課

証券コード：8130

（東証一部、名証一部）

目次

■ 2016年3月期 決算の状況	p.3
■2016年3月期 決算のPOINT	p.4
■2016年3月期 外部環境 関連市場の状況	p.5-6
■2016年3月期決算（連結）	p.7
■セグメント別売上高・営業利益推移	p.8
■2016年3月期決算 税金等調整前純利益（連結）の増減（前期比）	p.9
■連結貸借対照表	p.10
■キャッシュ・フローの状況	p.11
■連結業績の推移①・②	p.12-13
■【参考資料】 Cash Conversion Cycle（サンゲツ単体）	p.14
■ 2017年3月期 通期見通し	p.15
■2017年3月期 外部環境予想	p.16
■2017年3月期 見通し	p.17
■2017年3月期業績見通し（連結）	p.18
■2017年3月期業績見通し（セグメント別）	p.19
■2017年3月期 税金等調整前純利益（連結）の増減（前期比）	p.20

■ 中期経営計画（2014-2016） Next Stage Plan G 進捗状況	p.21
■事業基盤の整備	p.22
・業務改革と情報システム・物流システム再構築	p.23
■事業戦略の再構築：拡張戦略	p.24
・商品開発体制の強化	p.25
・ブランディング	p.26
・ショールーム政策	p.27
・品質管理技術室	p.28
・物流拠点再整備	p.29
■事業戦略の再構築：成長戦略	p.30
・海外戦略	p.31
■ステークホルダーの評価向上	p.32
・取締役会構成	p.33
・コーポレートガバナンスコード発表	p.34
・株主還元策 実績	p.35
■将来見通しに関する注意事項	p.36

2016年3月期 決算の状況

2016年3月期 決算のPOINT

●**売上高 1,339億7,200万円**（前期比1.5%増）

□昨年度に続き**過去最高 6期連続増収**

●**連結当期純利益 63億9,300万円**（前期比45.2%増）

□上場以来**過去最高**（1991年3月期 62億3,500万円）

□中計目標63億円を1年前倒しで達成

●**自己資本 1,084.6億円**（前期比103.0億円減）

●**自己資本比率 77.9%**（前期比5.1ポイント減）

●**ROE 5.6%**（前期比1.9ポイント増）

●**ROIC 8.7%**（前期比2.6ポイント増）

●**EPS※ 89.81円**（前期比31.46円増）

※2016年3月期EPSは、潜在株式調整後の株式数にて算定（2014年・15年3月期はなし）

2016年3月期 外部環境 関連市場の状況

		新設住宅着工戸数 (国土交通省発表資料)	新設住宅着工床面積 (国土交通省発表資料)	住宅リフォーム市場 (当社推計資料)	民間非居住建築物 着工床面積 (倉庫・工場を除く) (国土交通省発表資料)
(2015.11.02改訂)		前年比	前年比	前年比	前年比
2013年	4-9月	12.7%	12.3%	8.0%	16.3%
	10-3月	8.5%	7.6%	26.3%	3.0%
2014年	4-9月	▲11.6%	▲15.7%	▲14.6%	▲8.2%
	10-3月	▲10.1%	▲14.8%	▲20.8%	▲12.7%
2015年	4-9月	6.9%	3.5%	4.5%	▲4.7%
	10-3月	2.2%	0.7%	1.0%	▲8.5%

1. 新築住宅	<ul style="list-style-type: none"> ・着工と内装工事の時間差4ヶ月。 ・新設住宅床面積の同期間(2015年1月～2015年12月)は99.2%と前年比減。
2. リフォーム需要	<ul style="list-style-type: none"> ・2015年度は前年比プラスに転じた。(当社推定)
3. 非住宅	<ul style="list-style-type: none"> ・2013年度の好調と2014年度の不調が全体では今期でほぼニュートラル。

2016年3月期 外部環境 関連市場の状況

●壁装材 関連市場の状況 (カッコ内は業績に影響を与える対象期間)

新築住宅市場 (2015年1月～2015年12月)	リフォーム市場 (2015年4月～2016年3月)	2015年度 業界全体の 壁紙出荷数量
新設住宅着工戸数 前年同期比 1.9%	前年同期比 2.8%	前年比 ▲0.5%
新設住宅着工床面積 前年同期比 ▲0.8%		



壁装材売上高
前年度比 実績
1.3%

●床材 関連市場の状況

民間非居住建築物 着工床面積 (倉庫・工場を除く)	2015年度 業界全体の 商材別出荷数量 (前年度比) (2015年4月～2016年2月時点)	
2013年度 前年度比 9.4%	タフテッドカーペット	▲8.4%
2014年度 前年度比 ▲10.4%	カーペットタイル	9.3%
	長尺フロア	▲3.9%
	フロアタイル	4.9%



床材売上高
前年度比 実績
4.7%

2016年3月期決算（連結）

単位（億円、％）

	2015年 3月期実績	2016年 3月期計画	2016年 3月期実績	計画比		前期比	
				増減	％	増減	％
売上高	1,320.5	1,355.0	1,339.7	-15.2	-1.1%	19.2	1.5%
売上総利益	375.1	387.0	395.2	8.2	2.1%	20.1	5.3%
販売費及び 一般管理費	294.7	304.5	304.1	-0.3	-0.1%	9.3	3.2%
営業利益	80.3	82.5	91.1	8.6	10.4%	10.8	13.5%
営業外収益	5.2	3.7	4.5	0.8		-0.7	
営業外費用	0.5	0.7	1.0	0.3		0.5	
経常利益	85.0	85.5	94.6	9.1	10.7%	9.5	11.2%
特別利益	0.1	0	0.2	0.2		0	
特別損失	13.6	1.0	1.3	0.3		-12.3	
税金等調整前 当期純利益	71.5	84.5	93.4	8.9	10.6%	21.9	30.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益	44.0	55.0	63.9	8.9	16.2%	19.9	45.2%
EPS（円）※	58.4	75.3	89.8	14.5		31.4	

主に中計実行による費用で前年比3.2%増も、計画通りに。
→詳細はp.9

- ・中期経営計画に伴う増+12.6億円
- ・取引活発化に伴う増+2.5億円
- ・改善、その他経費増減▲5.8億円

2015年3月期の雪害に対する子会社保険金の受取で、営業外収益減少。

下期より持分法適用開始した、ウェーブロックホールディングス㈱の持分法投資損失などにより、営業外費用増。

2015年3月期の保有資産見直しによる減損等の解消により、特別損失は減少。

法人税率引下げにより、法人税等抑制

※2016年3月期実績EPSは、潜在株式調整後の株式数にて算定（2015年3月期はなし）

※2015年4月1日付で株式分割（1株を2株に分割）を行っており、2015年3月期のEPSは、分割後の株数ベースで算定

セグメント別 売上高・営業利益推移

●売上高推移

単位 (億円、%)

事業セグメント	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	構成比	対前年度増減率
インテリア	1,131.8	1,133.6	1,151.4	85.9%	1.6%
壁装材	557.3	556.1	563.5	48.9%	1.3%
床材	379.2	386.4	404.5	35.1%	4.7%
カーテン	82.3	81.1	77.8	6.8%	-4.1%
その他	112.8	109.9	105.5	9.2%	-4.0%
エクステリア	150.1	146.9	147.1	11.0%	0.1%
照明器具	38.2	40.2	41.4	3.1%	3.1%
セグメント間取引調整	-0.4	-0.3	-0.2	-	-
連結売上高	1,319.7	1,320.5	1,339.7	100.0%	1.5%

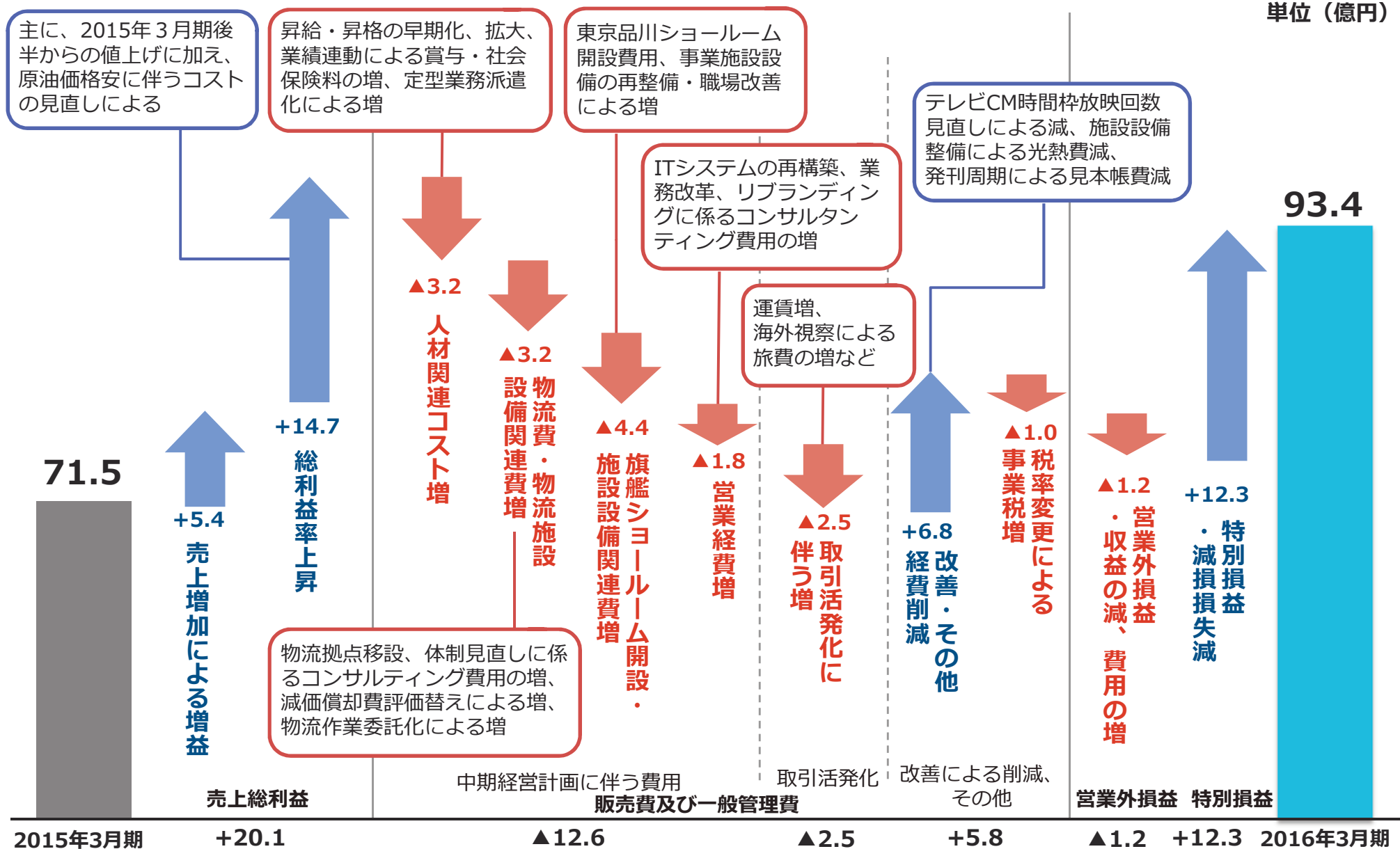
●営業利益推移

単位 (億円、%)

事業セグメント	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	構成比	対前年度増減率
インテリア	88.4	75.5	88.7	97.4%	17.5%
エクステリア	5.5	4.5	3.6	4.0%	-19.4%
照明器具	-4.3	0.3	-1.2	-1.4%	-
セグメント間取引調整	-0.1	-0	-0	-	-
連結営業利益	89.5	80.3	91.1	100.0%	13.5%

2016年3月期決算 税金等調整前純利益（連結）の増減（前期比）

単位（億円）



連結貸借対照表

単位（億円）

区分	期別	2015年 3月31日	2016年 3月31日	増減
（資産の部）				
流動資産		996.1	888.2	▲107.8
現金及び預金		282.3	298.0	15.6
受取手形等及び売掛金		449.2	455.7	6.4
有価証券		133.0	3.0	▲130.0
その他		131.4	131.4	0.01
固定資産		434.6	503.9	69.3
〈有形固定資産〉		285.7	310.0	24.2
建物及び構築物		83.4	88.9	5.5
土地		185.5	193.5	7.9
その他		16.7	27.5	10.7
〈無形固定資産〉		3.3	12.9	9.6
〈投資その他の資産〉		145.5	180.9	35.4
資産合計		1,430.7	1,392.2	▲38.5
（負債の部）				
流動負債		189.6	227.1	37.4
支払手形等及び買掛金		131.9	159.7	27.7
未払法人税等		12.8	17.9	5.1
その他		44.8	49.5	4.6
固定負債		53.5	79.8	26.3
負債合計		243.1	307.0	63.8
（純資産の部）				
株主資本		1,150.6	1,080.5	▲70.0
その他の包括利益累計額		36.9	4.0	▲32.8
新株予約権		-	0.5	0.5
純資産合計		1,187.5	1,085.1	▲102.4
負債純資産合計		1,430.7	1,392.2	▲38.5

主に国債の償還による

主に事業施設改修、新東京ショールーム投資等

主に新規物流拠点（中部ロジスティクスセンターⅡ）の土地取得による増加

主に中部ロジスティクスセンターⅡの工事契約による、建設仮勘定の増加

主に次期基幹システム（SAP）の、ライセンス費用・要件定義などの開発費用

主に投資信託（日本国債運用）・公社債の購入、ウェーブロックホールディングス(株)株式取得による増加、保有株式の時価会計による減▲14.8億円

仕入債務支払期間延長による支払手形等の増加

主に退職給付に係る負債の増加

主に資本政策による自己株式の取得と消却による減少

主に割引率低下による退職給付に係る調整累計額の減、保有株式の時価会計による減少

キャッシュ・フローの状況

単位（億円）

	2015年3月期 実績	2016年3月期 実績	前年同期差
税金等調整前当期 純利益	71.5	93.4	21.9
減価償却費	11.7	14.2	2.4
運転資金増減	-15.2	22.3	37.5
法人税等支払	-44.5	-25.8	18.6
その他	24.0	4.0	-19.9
営業キャッシュ・フロー	47.6	108.3	60.6
投資キャッシュ・フロー	61.3	151.5	90.1
フリーキャッシュ・フロー	108.9	259.8	150.8
財務キャッシュ・フロー	-76.9	-135.2	-58.3

主に支払方法変更により仕入れ債務が増加。
運転資金増減内訳

【16.3期】 売上債権増加 ▲6.4
棚卸資産減少 1.1
仕入債務増加 27.7

主に15.3期発生 of 減損損失による調整（11.7）が解消

主に預金の預入と払戻による差額収入

【16.3期】 差額収入 108.9

投資有価証券の取得と償還、売却の差額収入

【16.3期】 差額収入 105.0

固定資産の取得による支出増

【16.3期】 ▲43.4

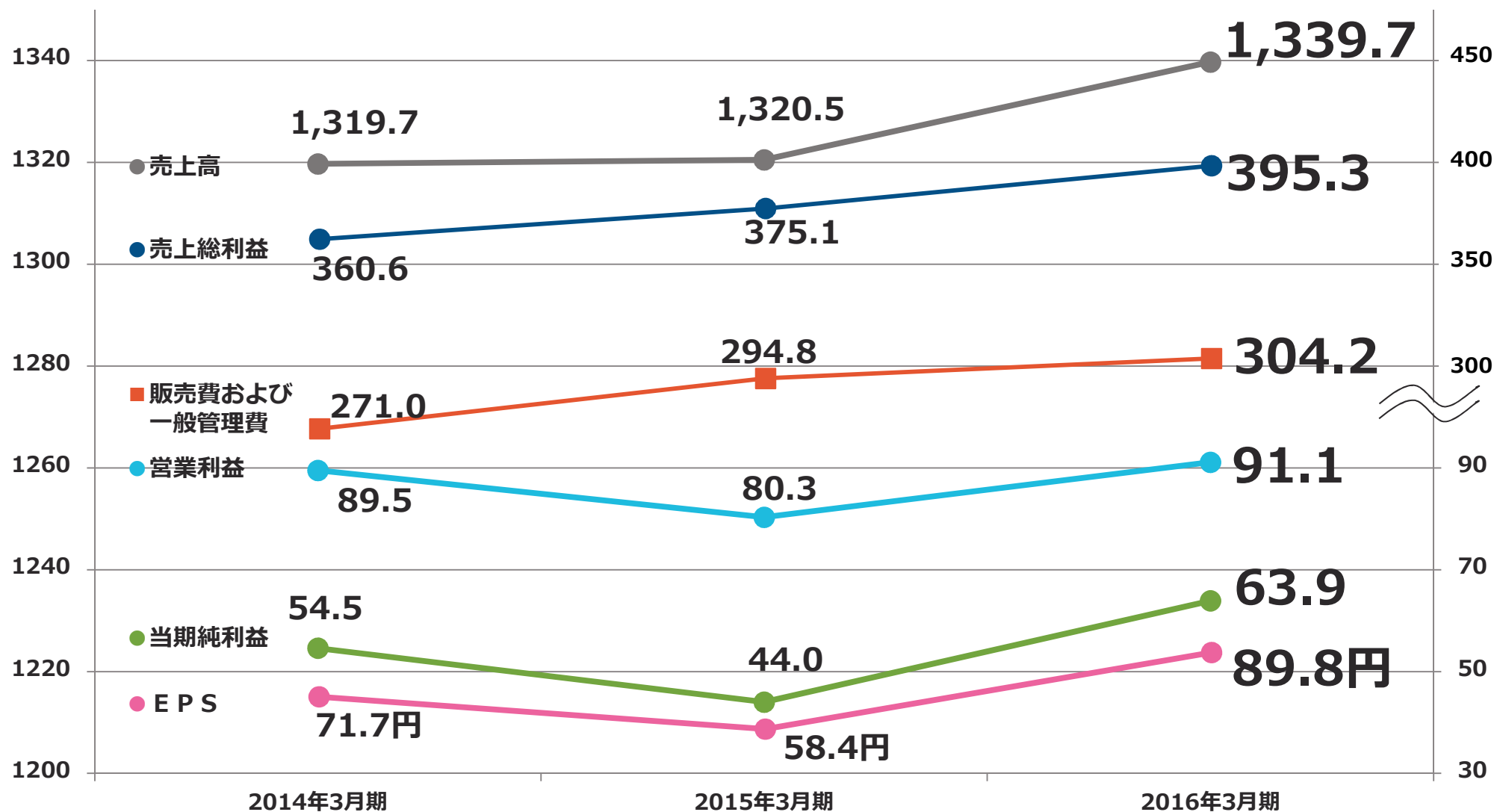
主に自己株式取得増加と配当金支払増加による支出増

【16.3期】 自己株式取得 ▲101.7
配当金支払 ▲32.5

連結業績の推移①

単位（億円）

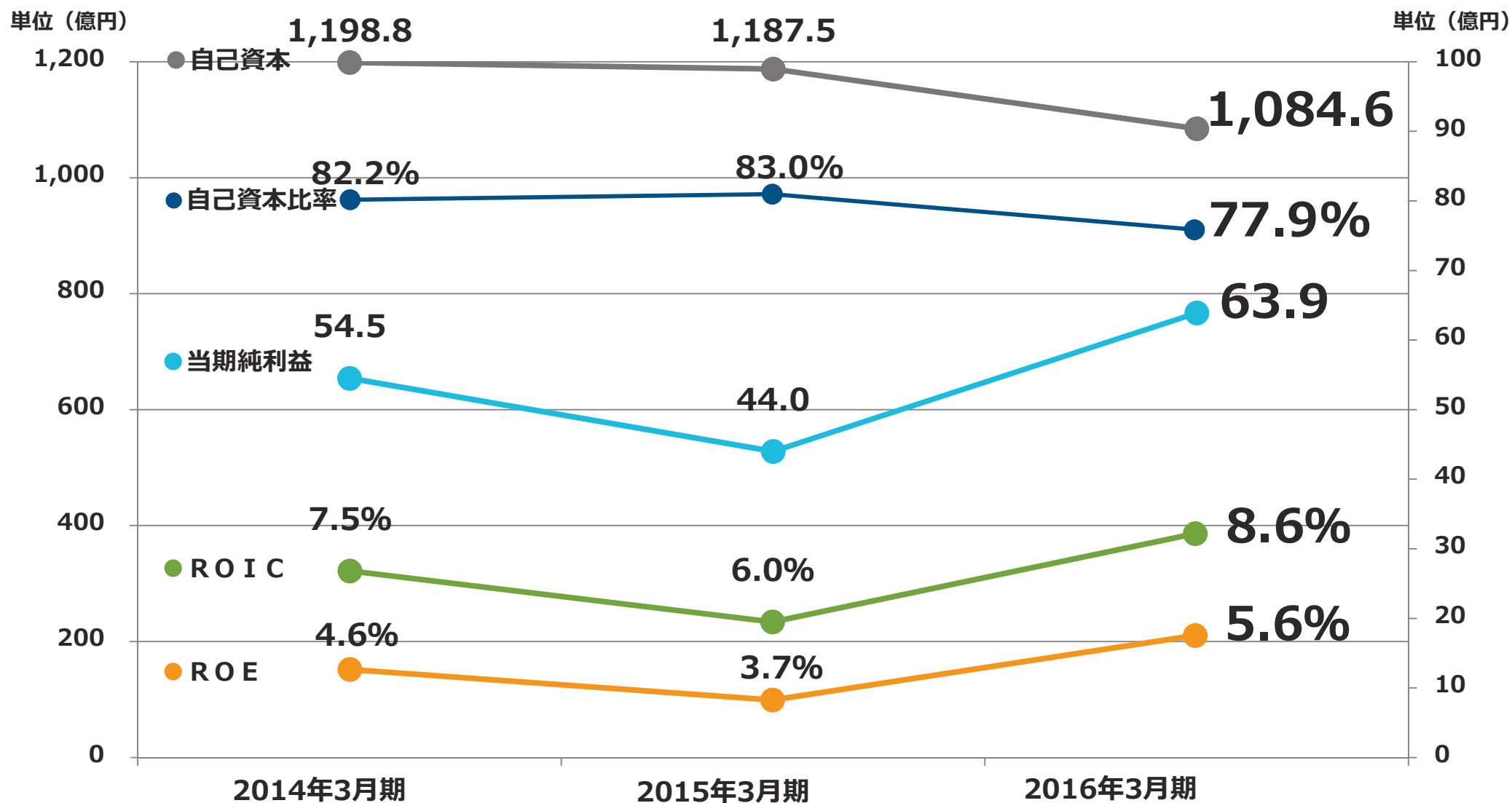
単位（億円）



※2016年3月期EPSは、潜在株式調整後の株式数にて算定。（2014年・15年3月期はなし）

また、当社は2015年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割しており、それ以前は当該株式分割が行われたと仮定して、EPSを算定しております。

連結業績の推移②

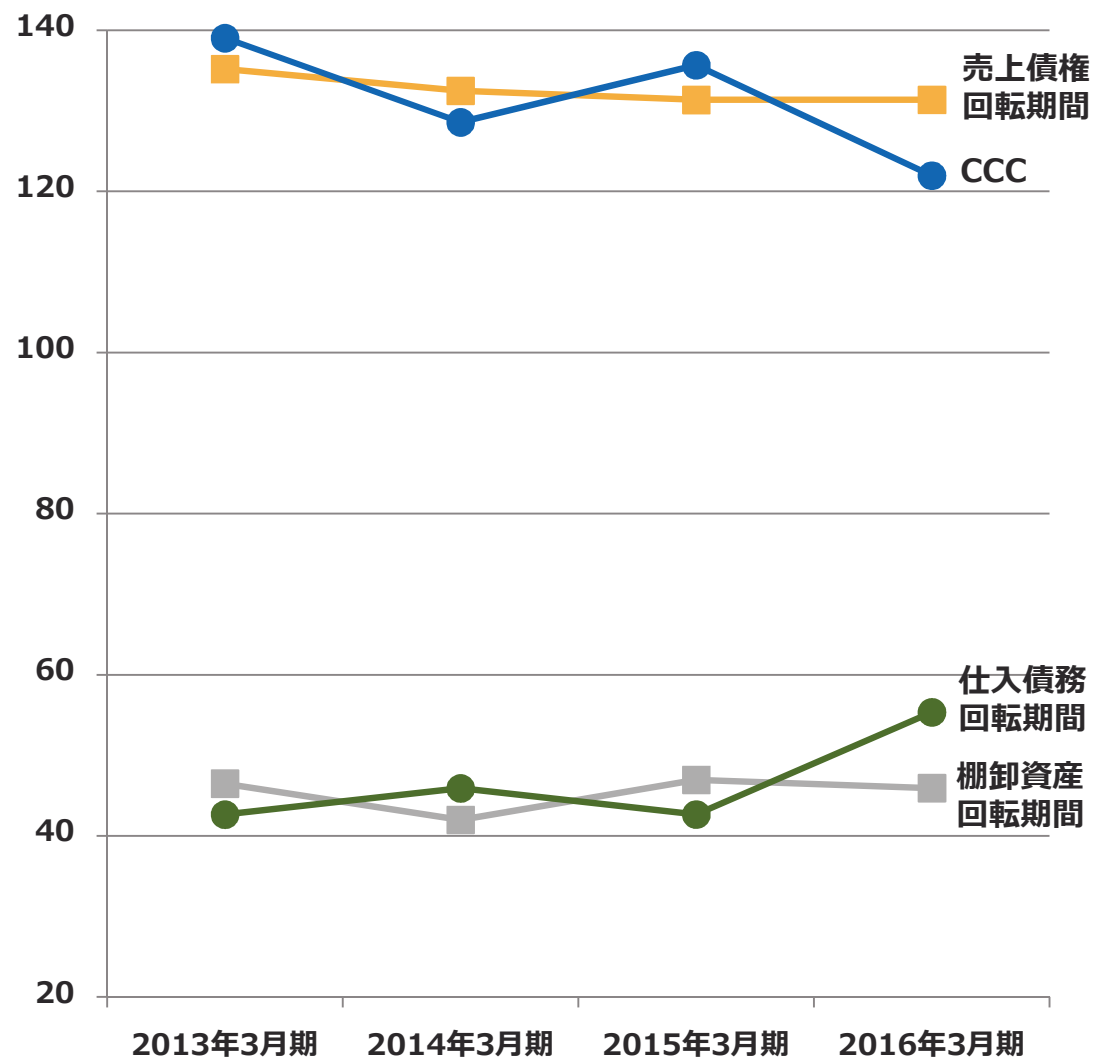


【参考資料】 Cash Conversion Cycle (サンゲツ単体)

単位 (日)

	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期
売上債権 回転期間	135	132	131	131
棚卸資産 回転期間	46	42	47	46
仕入債務 回転期間	43	46	43	55
CCC	139	129	136	122

※サンゲツ単体



2017年3月期 通期見通し

2017年3月期 外部環境予想 (当社推定)

		新設住宅着工戸数	住宅リフォーム市場	民間非居住建築物着工床面積 (倉庫・工場を除く)
		前年比	前年比	前年比
2014年	上期実績	▲11.6%	▲14.6%	▲8.2%
	下期実績	▲10.1%	▲20.8%	▲12.7%
	通期実績	▲10.8%	▲17.8%	▲10.4%
2015年	上期実績	6.9%	4.5%	▲4.7%
	下期実績	2.2%	1.0%	▲8.5%
	通期実績	4.6%	2.8%	▲6.5%
2016年	上期予想	2.7% (48.4万戸)	3.1%	2.3%
	下期予想	2.1% (45.8万戸)	2.6%	2.8%
	通期予想	2.4% (94.2万戸)	2.9% (2016年5月25日見直し)	2.5%

2017年3月期 見通し

● 外部環境

- 住宅：ハウスメーカーの受注速報等より、新設住宅着工戸数は94万戸程度を予想するも、消費税増税の影響が不確定要素。
- リフォーム：景気敏感性高く不透明。
- 非住宅：14年度・15年度の着工面積の減少が影響。上期を中心に不振が予想される。

● 事業見通し

14年度・15年度の利益増のベースとなった、値上げ、仕入単価削減による総利益率の改善は望めず、販管費増をカバーする為には引き続き販売価格の維持を第一に商品力・機能の強化により収益、売上の確保に努める。

● 売上高 1,400億円（前期比4.5%増）

- 壁紙や床材の主力見本帳の発売
- 業務体制の見直し、営業部門の人員と機能の強化
- 仙台、金沢、沖縄に小型ショールームを新設

● 販売費及び一般管理費 324億円

物流設備の新設等により前期比20億円増

● 連結当期純利益 63億円(前期比1.5%減)

● 配当 50円（予）（前期比2円50銭増）

2017年3月期業績見通し（連結）

単位（億円、％）

	2016年 3月期 実績	2017年3月期								
		上期 計画			下期 計画			通期 計画		
		前期差	前期比	前期差	前期比	前期差	前期比			
売上高	1,339.7	666.0	23.4	3.6%	734.0	36.8	5.3%	1,400.0	60.3	4.5%
売上総利益	395.2	197.5	9.2	4.9%	217.0	10.0	4.8%	414.5	19.2	4.9%
販売費及び 一般管理費	304.1	157.2	14.5	10.2%	167.3	5.8	3.6%	324.5	20.4	6.7%
営業利益	91.1	40.3	-5.2	-11.6%	49.7	4.1	9.2%	90.0	-1.1	-1.2%
営業外収益	4.5	2.8	0.5		2.7	0.5		5.6	1.1	
営業外費用	1.0	0.2	-0		0.3	-0.3		0.6	-0.4	
経常利益	94.6	42.9	-4.7	-9.9%	52.1	5.0	10.8%	95.0	0.4	0.4%
特別利益	0.2	0	-0.1		0	-0		0	-0.1	
特別損失	1.3	0.5	-0		3.5	2.6		4.0	2.6	
税金等調整前 当期純利益	93.4	42.4	-4.8	-10.2%	48.6	2.3	5.0%	91.0	-2.5	-2.7%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	63.9	29.6	-2.6	-8.2%	33.4	1.7	5.4%	63.0	-0.9	-1.5%
EPS（円）※	89.8	43.3	-1.4		48.9	3.6		92.2	2.3	

→詳細は p.20
【中計実行に伴う費用】
：15.0億円増
【取引活発化、その他費用】
：5.4億円増

物流拠点移設などに伴う、
固定資産除却損を見込む

※2016年3月期実績EPSは、潜在株式調整後の株式数にて算出

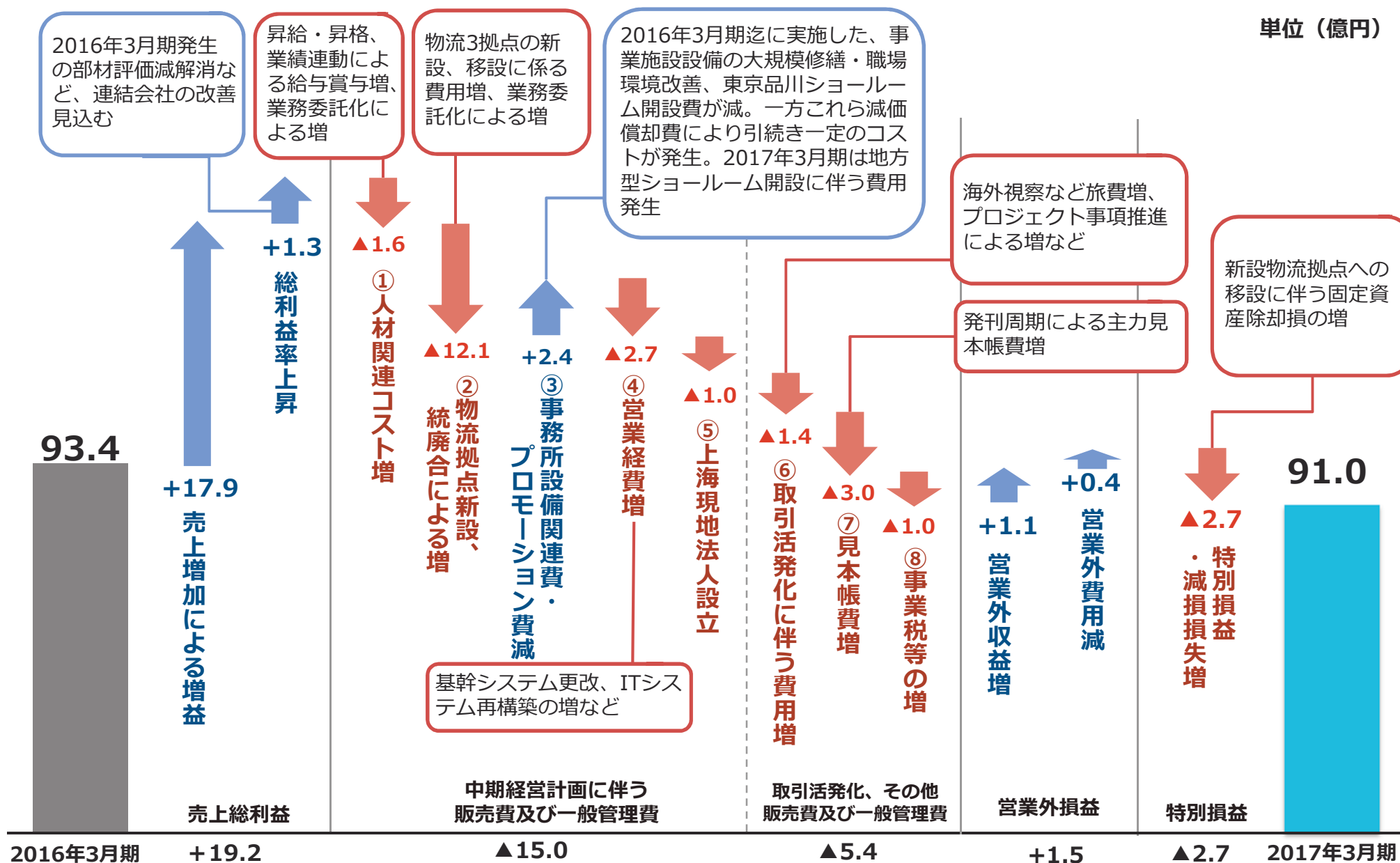
2017年3月期業績見通し（セグメント別）

単位（億円、％）

		2016年 3月期 実績	2017年3月期								
			上期 計画			下期 計画			通期 計画		
			前期差	前期比	前期差	前期比	前期差	前期比			
インテリア	売上高	1,151.4	572.0	20.8	3.7%	634.0	33.7	5.6%	1,206.0	54.6	4.7%
	営業利益	88.7	38.0	-6.9	-15.4%	47.2	3.4	7.8%	85.2	-3.5	-3.9%
エクステリア	売上高	147.1	74.0	2.1	2.9%	78.0	2.7	3.6%	152.0	4.9	3.3%
	営業利益	3.6	2.3	0.7	51.0%	2.5	0.3	16.2%	4.8	1.2	30.6%
照明器具	売上高	41.4	20.0	0.2	1.3%	22.0	0.2	1.3%	42.0	0.6	1.3%
	営業利益	-1.2	0	0.8	-	0	0.4	-	0	1.2	-
セグメント間 取引調整	売上高	-0.2									
	営業利益	0									
合計	売上高	1,339.7	666.0	23.4	3.6%	734.0	36.8	5.2%	1,400.0	60.3	4.4%
	営業利益	91.1	40.3	-5.2	-11.6%	49.7	4.2	9.2%	90.0	-1.1	-1.2%

2017年3月期決算 税金等調整前純利益（連結）の増減（前期比）

単位（億円）



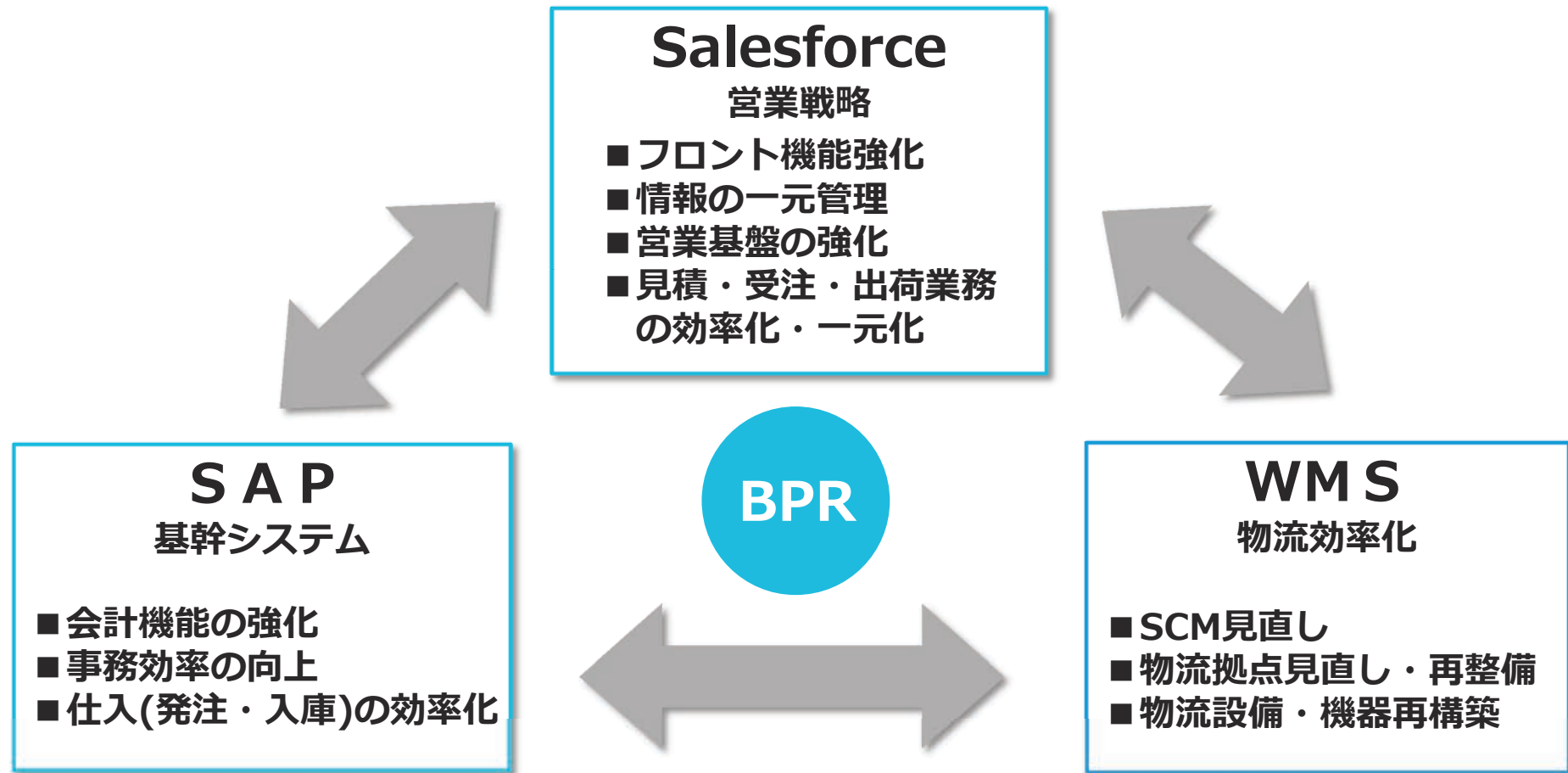
中期経営計画（2014-2016）
Next Stage Plan G
進捗状況

事業基盤の整備

済：実行済み 中：実行中 未：今後実行

項目	施策内容	実行状況
組織の見直し	14年度/15年度/16年度実行	済
人事制度改革	新人事・給与制度	済
組織・運営ルールの見直し	諸規定改定	済
情報システムの再構築	SAP/Salesforce/WMS	中

業務改革と情報システム・物流システム再構築 事業基盤の整備



期間	2015年9月～11月	2015年12月～2016年6月	2016年7月～12月	2017年1月
検討項目	要件定義	システム設計・開発	運用準備・移行リハーサル	稼働開始

事業戦略の再構築：拡張戦略

済：実行済み 中：実行中 未：今後実行

項目	施策内容	実行状況
商品開発・調達	仕入先とのアライアンス構築	中
	商品開発体制強化	中
	ブランディング	済
営業体制強化	組織再編成	中
	人員強化	中
	ショールーム整備	中
	品質管理・技術力向上	中
物流再構築	拠点再整備	中
	SCM見直し	中
サブ機能強化	施工体制	中
	コーディネート提案力	中

商品開発体制の強化 事業戦略の再構築：拡張戦略

● 新体制発足以降に開発した見本帳



カーペットタイル “SUMI”

2015年度グッドデザイン賞受賞(2015年9月)
 ・ 壁紙シリーズ「室礼 (しつらひ) /SHITSURAHII」
 (塩ビ製品のぞく)
 ・ 床材カーペットタイル「process#100シリーズ」
 “SUMI”

大版セラミックスラブ「GARZAS」

JCDプロダクトオブザイヤー2016受賞(2016年5月)

- ・ 大版セラミックスラブ「GARZAS」
- ・ ガラスの映り込みを抑えるガラスフィルム「ルクリア」



ブランディング 事業戦略の再構築：拡張戦略

●2016年4月1日 新しいブランドコンセプトを对外発表

◆ブランドステートメント

“ Joy of Design ”



私たちは、新しい空間を創りだす人々に
デザインするよろこびを提供します。

◆ロゴタイプ

【旧】 **SANGETSU** → 【新】 sangetsu

多様なスタイルの空間に取り入れられるニュートラル性を持ち、
新しい時代の流れにしなやかに対応しながら、新たな価値を創造
していく姿を表現します。

◆シンボルマーク

【旧】  → 【新】 

みずみずしく鮮やかなカラーで生まれ変わったシンボルマーク。サンゲツ
の歴史と伝統、理念を発展的に継承しながら、新たな領域にチャレンジし、
空間を創りだす人々へ、よろこびとインスピレーションを与える「光」と
なる私たちのあり方を表現しています。



●新CM「デザインしよう」篇

(4月3日公開スタート)

新しいCMでは、人々が豊かなインテリアの中で
自分らしい生活を楽しむ様子を通じて
“Joy of Design”を伝えています。

【放送枠・時間】

日本テレビ系列全国ネット「真相報道バンキシャ！」内CM (毎
週日曜 18:00~18:55) ※沖縄地区は従来同様、琉球放送
(RBC)「サンデーモーニング (毎週日曜8:00~9:54)」、
「沖縄BON (毎週土曜12:00~12:54)」

ショールーム政策 事業戦略の再構築：拡張戦略

●新ブランドコンセプト発表に合わせ、全国ショールームの呼称をリニューアル

◆ sangetsu design site

FLAGSHIP

- ・サンゲツ品川ショールーム 2015年7月OPEN

サンゲツの商品展示はもちろん、最新のデジタル体感システムを導入し、“見る楽しさ”“組み合わせる楽しさ”に溢れた旗艦ショールーム

◆ sangetsu design studio

リフォーム需要を対象とした地方型の小型ショールーム



◆2016年の開設予定

- 5月 サンゲツ仙台ショールーム
- 6月 サンゲツ沖縄ショールーム
- 秋 サンゲツ金沢ショールーム

● ファブレスメーカーとして必要十分な品質管理体制を整備する

【品質管理技術室人員体制】

	経歴・任務
品質管理技術室 室長 2014年5月入社	品質管理担当
社員 A 2016年3月入社	試験研究担当
社員 B 2016年4月入社	壁装技術担当
社員 C 2015年3月入社	床材技術担当

- 商品開発に対する技術支援体制
- 商品不具合削減のための品質管理強化
- 仕入先実査制度
- 自社での品質クレームの調査能力

物流拠点再整備 事業戦略の再構築：拡張戦略

● 新物流拠点稼働スケジュール

2016年4月

2016年8月

2017年1月

2018年1月



久喜センター（仮）

- ・住所：埼玉県久喜市河原井町
22-3
(久喜菖浦工業団地内)
- ・延べ床：約9,000 坪
- ・竣工：2016年夏
- 稼働：2016年8月予定



中部ロジスティクスセンターⅡ（仮）

- ・住所：愛知県稲沢市平和町嫁振北
1-1、4-3
- ・延べ床：約7,400 坪
- ・竣工：2016年10月
- 稼働：2017年1月予定



平和島センター（仮）

- ・住所：東京都大田区平和島
6-1-1
- ・延べ床：約6,700坪
- ・竣工：2017年夏、
- 稼働：2018年1月予定

事業戦略の再構築：成長戦略

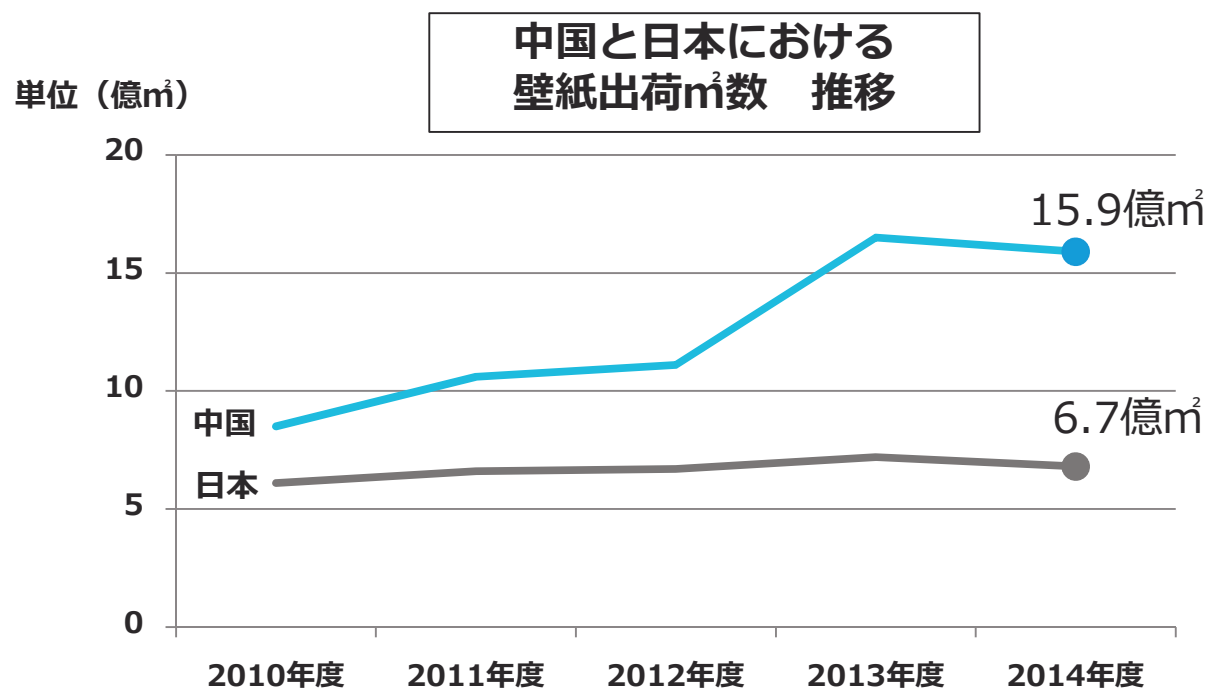
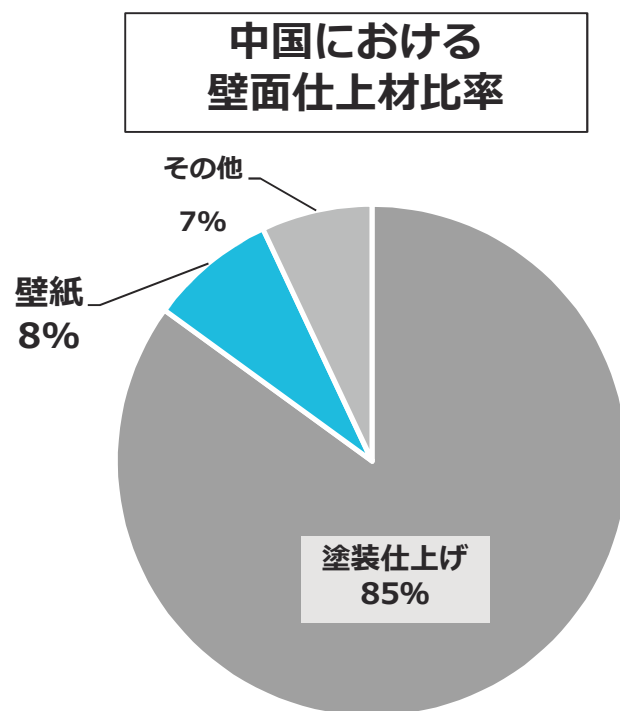
済：実行済み 中：実行中 未：今後実行

項目	施策内容	実行状況
新規事業	新規商品 …大版セラミックスラブ「GARZAS」	中
	新規分野	未
海外事業	海外での事業展開	中

【参考】中国建築装飾材料協会壁紙専門委員会

● 2016年4月 中国 上海市に 現地法人「山月堂（上海）装飾有限公司」を設立

在庫・配送・ショールーム・施工機能を持つ、本邦型現地法人



ステークホルダーの評価向上

項目	施策内容	実行状況
ガバナンス	新ガバナンス体制	済
資本政策	中期資本政策	中
CSR	CSR推進課の設置	中

取締役会構成

ステークホルダーの評価向上

● 取締役 (2016年6月23日 株主総会日以降)

	役職	経歴
安田 正介	代表取締役 社長執行役員	
佐々木 修二	取締役 常務執行役員	
志水 濟	取締役 執行役員	
吉川 恭伴	取締役 執行役員	
伊藤 研治	取締役 執行役員	
那須 國宏	社外取締役 (監査等委員)	弁護士 那須・岩崎法律事務所 (元日本弁護士連合会 副会長)
古角 保	社外取締役 (監査等委員)	株式会社三菱東京UFJ銀行 常任顧問 (元副頭取)
羽鳥 正稔	社外取締役 (監査等委員)	株式会社力ネ力 特別顧問 (元副社長)
浜田 道代	社外取締役 (監査等委員)	名古屋大学名誉教授 (元公正取引委員会委員)
田島 貴志	取締役 (常勤監査等委員)	当社元秘書室長

- **2015年 8月** フルコンプライのもと、「コーポレートガバナンス報告書」提出および開示

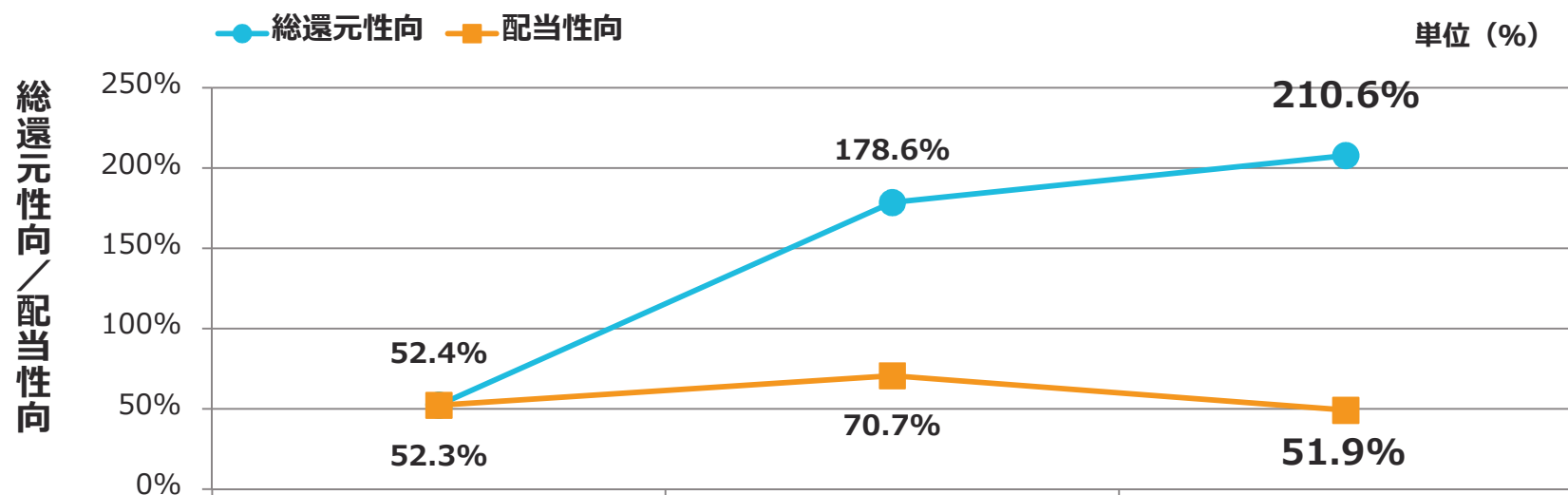
- **2015年 11月** 指名報酬諮問委員会の設置

指名報酬諮問委員会 体制	役職
安田 正介 (議長)	代表取締役 社長執行役員
大石 親宣	取締役 ※2016年6月23日以降、取締役 伊藤 研治が担当予定
那須 國宏	社外取締役 (監査等委員)
古角 保	社外取締役 (監査等委員)
羽鳥 正稔	社外取締役 (監査等委員)
浜田 道代	社外取締役 (監査等委員)
田島 貴志	取締役 (常勤監査等委員)

- **2016年 2月** 「コーポレートガバナンス報告書」更新

- 1) 取締役会の自己評価アンケート調査実施
- 2) 外部会計監査人の任期を最大10年に定める

株主還元策 実績 ステークホルダーの評価向上



年度	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期
連結当期純利益	54億円	44億円	63.9億円
配当総額 (一株当たり配当額)	28.6億円 (37.5円/株)	30.7億円 (41.25円/株)	33.2億円 (47.5円/株)
自己株取得金額	0円	47.8億円	101.4億円
総還元額	28.6億円	78.5億円	134.6億円
発行済み株式数推移	8,038千株 (2014年3月末)	74,100千株 (2015年3月末)	69,170千株 (2016年3月末)
自己資本の推移	1,198.8億円	1,187.5億円	1,084.6億円
EPS	71.7円	58.4円	89.8円

※当社は、2015年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
それ以前は当該株式分割が行われたと仮定して、表示しております。

将来見通しに関する注意事項

本資料には当社の「将来に関する記述に該当する情報」が記載されています。本資料における記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来予測に関する記述に該当します。

これら将来予測に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しており、それらの要因による影響を受ける恐れがあります。

Joy of Design